

普及指導員調査研究報告書

課題名：「せとみ」の高品質生産技術の実証

農林総合技術センター技術指導室 担当者氏名：原田直

<活動事例の要旨>

山口県のオリジナル柑きつ「せとみ」の生育調査、果実品質調査を各産地で実施し栽培指導に活用した。高品質果実生産を目的とした梅雨明け時期からの白黒マルチ設置により着色促進効果が認められた。

1 普及活動の課題・目標

山口県のオリジナル柑きつ「せとみ」は、産地の振興を牽引するブランド力のある柑きつとなるよう推進品種に定め、生産拡大の取組を進めており、品質向上による商品力の強化と安定収量確保が課題となっている。

産地の実情に応じてせとみの生育、果実品質等の調査と、高品質果の連年生産技術を検討する。

2 普及活動の内容

(1) 生育調査

ア 調査ほ場の設置

現地調査ほ場について各農林事務所で設置し調査した。

イ 調査期間

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

ウ 調査方法

生育調査は発芽期、開花期について 4～5 月に調査した。

果実調査は果実肥大を 7～11 月にかけて毎月 20 日に、果汁成分について 1 月 20 日、2 月 20 日に調査した。

(2) 白黒マルチ設置と果実品質

ア 調査ほ場の設置

現地調査ほ場について各農林事務所で設置し調査した。

イ 調査期間

平成 25 年 7 月～平成 26 年 3 月

ウ 調査区の設置と調査方法

表 1 処理区のマルチ被覆時期と調査日、かん水方法

	被覆時期※	果実品質調査	かん水方法
周防大島町久賀	7 月 10 日	2 月 6 日	点滴かん水
周防大島町久賀	11 月 5 日	2 月 6 日	点滴かん水
防府市右田	7 月中下旬	1 月 7 日	かん水施設なし
下関市永田郷	7 月 12 日	3 月 3 日	点滴かん水

※白黒ポリマルチ（幅 1.8m、厚さ 0.05mm）で主幹部を 30cm 開けて被覆

3 普及活動の成果（調査結果）

(1) 生育調査

発芽期は平年と比べやや遅れた。開花期、自己摘心期は平年並みとなった。

着花は平年並みから多くなり、着果も多くなった。

果実肥大は、7月から平年並みから大きく推移したが、産地で着果が多い園では小さい園もあった。果実品質では糖度は平年並み。酸度は低く推移した。

周防大島では1月下旬から収穫を始め、2月上旬に収穫を終えた。下関では2月下旬から収穫を始め3月上旬に収穫を終えた。

ア 生育時期

表2 発芽期、開花期

調査地点	発芽期	開花期		
		始	盛	終
柑きつ振興センター (平年)	4/8	5/16	5/22	5/27
柑きつ振興センター	4/10	5/16	5/22	5/27
岩国市通津	4/12	5/21	5/26	5/30
周防大島町久賀	4/8	5/13	5/20	5/25
防府市富海	4/1	5/16	5/21	5/25
下関市永田郷	4/7	5/17	5/20	5/23
萩市大井市場	4/2	5/13	5/20	5/29
萩市大井鶴山	4/1	5/13	5/20	5/29

イ 果実ヨコ径の推移 (mm)

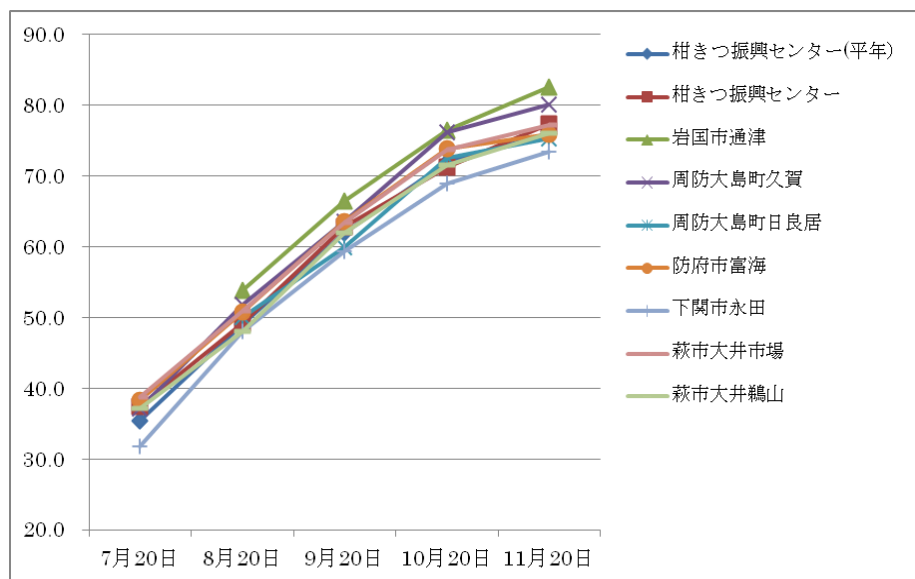


図1 果実ヨコ径の推移

ウ 果実品質調査

表3 果実品質

調査地点	1/20			2/20		
	糖度	酸	糖酸比	糖度	酸	糖酸比
柑きつ振興センター (平年)	13.9	1.42	9.8	15.0	1.21	12.4
柑きつ振興センター	14.5	1.37	10.6	14.6	1.37	10.7
岩国市通津	11.7	1.99	5.9			
周防大島町久賀	12.3	1.30	9.5	13.4	1.05	12.8
周防大島町日良居	13.0	1.31	9.9	13.7	0.93	14.7
防府市富海	13.4	2.09	6.4	13.5	1.40	9.6
下関市永田郷	13.1	1.55	8.5	13.8	1.48	9.3
萩市大井市場	12.9	0.95	13.6	13.2	1.37	9.6
萩市大井鶴山	12.9	1.21	10.7	14.2	1.02	13.9

(2) 白黒マルチ設置と果実品質

糖度は、3カ所とも処理区と無処理で差は認められなかった。

クエン酸は、1カ所で処理区が低く、1カ所で処理区が高く、1カ所で差がなかった。着色は、2カ所で処理区で進み、1カ所で差がなかった。

表4 白黒マルチ設置と果実品質

調査地点	調査日	処理区	果実重 (g)	糖度 (Brix%)	クエン酸 (%)	着色
周防大島町久賀	2/6	7月マルチ被覆	178.6	13.4	1.01	9.9
周防大島町久賀	2/6	11月マルチ被覆	190.6	13.1	1.05	9.7
周防大島町久賀	2/6	無処理	180.4	13.2	1.20	8.2
防府市右田	1/7	マルチ区	187	12.4	1.54	8
防府市右田	1/7	無処理	195	12.3	1.30	8
下関市永田郷	3/3	マルチ区	184.5	14.2	1.15	9.7
下関市永田郷	3/3	無処理	167.2	14.4	1.14	9.3

4 今後の普及活動に向けて

今年度のせとみの生産量は表年で多くなったが、近年隔年結果の傾向が続いているため、樹勢を維持し連年安定結果を目指して着果管理、樹勢向上対策に取り組む。

白黒マルチの設置と果実品質については、白黒マルチによる着色促進効果が2カ所で認められた。かん水施設がないほ場ではクエン酸が高くなる結果となったため、かん水施設がないほ場では、白黒マルチを敷設した場合の乾燥時期には適宜、かん水の必要性が示唆された。次年度以降も継続して調査したい。